

HPV ワクチンを受けたお子様と保護者の方へ

ワクチンを受けた当日

◎ワクチンを受けた後 30 分ほどは座って様子を見てください。

※ワクチンを受けることに対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて、時に気を失うことがあります。血管迷走神経反射という誰にでも起こる可能性がある反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。

◎ワクチンを受けた日ははげしい運動はやめてください。

以下のような症状が出たら医師に相談してください

- 注射の針を刺したときに強い痛みやしびれを感じた
- ワクチンを受けた後に、注射した部分以外のところで痛みや手足のしびれ・ふるえなど気になる症状や体の変化がある

<起こるかもしれない体の変化>

多くの人に起こる症状	・注射した部分の痛み、腫れ、赤み ・疲れた感じ、頭痛、腹痛、筋肉や関節の痛み
その他の症状	・注射した部分のかゆみ、出血、不快感 ・発熱、めまい、発しん、じんましん ・緊張や不安、痛みなどをきっかけに気を失う

<まれですが、起こるかもしれない重い症状>

- ・呼吸困難、じんましんなどを症状とする重いアレルギー（アナフィラキシー）
- ・手足の力が入りにくいなどの症状（ギラン・バレー症候群）
- ・頭痛、嘔吐、意識の低下などの症状（急性散在性脳脊髄炎（ADEM））

<痛みやしびれ、動かしにくさ、不随意運動について>

- ・ワクチンを受けた方に、広い範囲に広がる痛みや、手足の動かしにくさ、不随意運動（動かそうと思っていないのに体の一部が勝手に動いてしまうこと）などを中心とする多様な症状が起きたことが報告されています。
- ・ワクチンを受けていなくても、こうした症状のある方もいることが分かっています。

ワクチンを受けた後に体調の変化や気になる症状が現れたら、まずは接種を行った医療機関の医師にご相談ください。接種後の体調不良や症状については、必要に応じて専門的な診断・治療を受けていただくために、協力医療機関と連携して診療を行います。協力医療機関につきましては愛知県庁 WEB サイトに掲載されておりますのでご確認ください。

